



同窓会活動に積極的な参加を

東京鷹桜同窓会会長 高橋正二

関東地方在住の同窓生の皆様、お元氣でお過ごしでございますか。

わが鷹桜同窓会は大正十四年春に第一回の卒業生が出て同窓会が始まって以来、六十一回の卒業生が巣立ち、会員の数も多くなりました。

一方、東京在住の同窓生の集いも、戦後、昭和二十六年春に創立総会を開いて以来、三十四年を経過しました。第一回卒業の長沼孝三前会長を中心に、諸先輩の活躍もあって、次第に隆盛となり、昭和五十三年からは旧高等女学校の「小桜会」との合併により東京鷹桜同窓会に発展し、今日に至りました。

昭和五十六年秋の総会に於いて、長沼孝三初代会長が勇退され、私が第二代会長の大役を受け継ぐこととなりました。その間、次第に総会出

席者の数も多くなり、昭和五十八年秋の総会で、東京鷹桜同窓会独自の会則も整い、事務局も充実して、活動も活発になりました。

その一つとして、昭和五十六年から会報の発行を始め、母校の活躍状況や東京の各学年の同期会の模様、同窓会の動きなどを報せています。

しかし、この会報も総会出席者を中心に配るほか、同期会などで学年幹事に配ってもらう程度でしたが、これを関東在住の皆様、総会の案内状と共に送付することにしました。少しでも親睦の輪が広がることを期待いたします。

又、同窓会の活動の中で、経済的な負担も小さくなく、総会の案内状一つにしても、出席者が案内総数の一割未満ということで、これを出席

発行
東京鷹桜同窓会
発行人 高橋正二
編集人 木村繁
東京都板橋区小茂根
1-1-6-101
電話 (03) 958-8448

者が負担するようになってしまいました。そこで、出席されない方も、事務費として、金一、〇〇〇円を事務局までお送り下さるよう、郵便振替用紙を同封致しました。なにとぞ、ご理解のうえ、ご協力をおねがいいたします。

東京鷹桜同窓会一年の歩み

▽五九年十月二十一日(日) 日比谷公園「松本楼」で定例総会開催。

出席者一〇五名。母校の水野多門校長(昭19卒)、本部から村山秀雄会長(昭13卒)、寺島房子副会長(昭13卒)らのご出席を仰ぐ。会務報告に続き議事を行い、会則の一部改正、役員改選を満場一致で議決した後、恒例となった、郷里から寄贈の銘酒「小桜」の鏡開き、会員の自己紹介(昭11、15卒)を行い、なごやかに歓談、最後に安部嘉伸氏(昭33卒)の指導による校歌斉唱で締めくくった。武田律子氏(昭34卒)による女声!司会で華やかさもひとしお。

▽五九年十一月十七日(土) 板橋・商工企画内事務局で事務局会議開催。旧・新事務局長など六名出席。五九年度総会までの書信などの整理や会員名簿の整理の検討等を行う。以後六〇年五月まで、大谷礼子、難

又、現在、総会出席者の年代を見てもみますと、昭和三十年代半ばの卒業生までで、それ以降の出席者が非常に少ない現状です。同期会の幹事の方、ぜひ事務局に連絡をいただき、若い力のご協力をおねがいいたします。

波俊子両事務局員の手により、約一、二〇〇名にのぼる会員の名簿の点検・加除など整理作業が行われた。多大な労苦に対し、会長はじめ一同、感謝にたえず。

▽五九年十二月二日(日) 池袋・東方会館で学年幹事会を中心とした反省会開催。高橋会長など二五名出席。近況を披露し合うなど和氣あいあい。例年この頃、有志の集いが恒例になりつつあり、今後、更に、昭和四〇、五〇年代卒業の若手の参加を望む声しきり。事務局(〇三一二〇九一八〇一六 土屋)までご連絡願いたし。

▽六〇年七月六日(土) 池袋「紅花」で事務局会議兼会報編集会議開催。九月六日夕刻、学年幹事会を開催の上総会に臨むこと、かねてより木村繁(昭28卒)編集委員長から提案されていた会報の総会前発行を実行に移すことなど討議・決定。活動も徐々に充実の感あり。(土屋記)

東京鷹桜同窓会のあゆみ(2) — 長中草創期 —

同窓会 創立総会開く

昭和二十六年初夏、新橋の「石膏会館」で

前回にひきつづき、東京の同窓会、創立総会の模様と、当時の活動状況についてお伝えします。聞き書きは、前回につづき

渋谷利蔵、桑島喜平の両先輩を中心に、長沼孝三、高橋正二の前・現会長から行ったものです。(敬称略) (編集部・木村)

昭和二十五年秋、大田区の渋谷利蔵(昭4卒)宅で、同期の桑島喜平及び大国輝威(昭3卒)で準備した山形県立長井中学校同窓会東京支部の創立総会は、翌二十六年の春も過ぎた初夏の頃、港区新橋の「石膏会館」で行われた。出席者は十四、十五名であった。

当時、戦後数年のこととて、電話の普及はほんのわずかで、戦争で没した多くの同窓生や消息の分からない人達が多く、連絡のとりようもない状態であった。

したがって直接本人との連絡はなかなかつかず、故郷に連絡しては、その消息によって本人と連絡がつくようなことで、その困難はその後しばらく続くことになる。

会場の「石膏会館」は、須藤恒雄(昭3卒)の勤務していた吉野石膏(昭3卒)の所有で、その一室で創立総会が

期に、同じ場所、ほぼ同じメンバー

で、第二回総会を開いている。出席者はいずれも四十歳前後で働き盛りであった。熱心な語り合いがつづけられ、「母校のために何かしよう」と考えをめぐらすうちに、いくつかの提案の中から、母校卒業生の「就職斡旋」が浮かび出した。

当時、「産めよ殖やせよ」で生れた多くの子供たちが若者となって、いわゆる次・三男対策もあって、農村から都会を目指していた。しかし就職難の時代であったから、まさに時代にマッチした提案であった。

昭和二十七年、第二回の総会后、直ちにこのことが母校に伝えられ、翌二十八年三月の卒業生の中から、那須満雄ほか十数名の就職を世話した。母校では大感激で、又、世話を受けた卒業生も恩義に感じ、一生懸命仕事に励み、優秀な成績をあげ、評判になった。

このことに感激した世話組の先輩たちは、こんどは「よくやった」として、これら後輩達を、後の総会で表彰することとなる。

こうして、創立総会と第二回総会をはさんで活発に活動をし、続くかと思われたが、働き盛りの当事者たちの多忙さもあり、次代の後輩の抬頭を待つことになる。(以下次号)

決定された。

(名称) 山形県立長井中学校同窓会 東京支部

(支部長) 長沼孝三(一回大14卒)、(副支部長) 谷口正美(大15卒)、

渋谷幸太郎(昭2卒・利蔵の兄) 須藤恒雄(昭3卒)

(事務担当) 大国輝威(昭3卒)、桑島喜平(昭4卒) 渋谷利蔵(昭4卒)

(連絡事務所) 渋谷利蔵宅 実は、翌昭和二十七年も、同じ時期に、同じ場所、ほぼ同じメンバー



東京観光営業所 03-831-3031

〒110 東京都台東区東上野3-39-10(光和ビル1階) 山形県知事兼国旅国内旅行業第124号 国内旅行業取扱主任者 栗河正志

樹水のゲレンデへバスで直行

●東京発 85.11月22日→86.4月11日 ●釜山発 85.11月24日→86.4月13日

蔵王 天元台・坊平

Large stylized graphic for the bus service, including the text '86年11月' and 'スキーバス'.

東京・蔵王直通バス

樹水号天元台号毎日運行

ホワイトクイーン樹水号・毎日運行

樹水号 東京発(上野・山形交通前)→夜行・東北自動車道→蔵王温泉→ロープウェイ→蔵王坊平 蔵王坊平発→蔵王温泉→米沢営業所→東北自動車道→東京都内(池袋東口→新宿西口→東京八重洲口→上野山交前) 夜行 蔵王発→米沢観光センター→東京都内(池袋東口→新宿西口→東京八重洲口→上野山交前) 天元台号 東京発(上野・山形交通前)→菓子スキー場→米沢スキー場→米沢営業所→白布温泉→天元台 山形交通 天元台発→白布温泉→米沢営業所→米沢スキー場→菓子スキー場→東京都内(池袋東口→新宿西口→東京八重洲口→上野山交前)

〔母校の活躍〕

強豪の仲間入りした野球部

母校の部活動は、全体的には平均的な活躍状況とみられるが、このところ、目覚ましい進境をみせているのが、野球部である。昨年からの片鱗をうかがわせていたが、本年三月に「いわき地方」での長期合宿を行うなど、意欲的に練習を行い、先頃、野球部OB、PTAにより構成される「長井高校野球部を励ます会」から、冬季練習のできる投球・バッティング練習場の寄贈を受け、一段と熱が入って県の高校総体ではベスト4というすばらしい成績につながった。甲子園大会を見てもわかるように、強豪校はみな私立高校で、山形県でも、ベスト4の他の三校は私立高校であった。

母校では、水野校長をはじめ、地域ぐるみで、この野球部の応援に立ち上がっている。地域の活力になればと期待は熱い。東京の同窓生のみならず心からの応援を切望したい。

【甲子園大会・県予選】

進境著しいわが野球部は、一回戦をシードされ、二回戦より出場、二回戦、高島高校を5-4で退け、三回戦、羽黒工業と対戦したが、8-7で惜敗、涙をのんだ。

田南を下し、堂々、準決勝戦に駒を進め、強豪日大山形に敗れたが、大健闘。

【県高校総体】 6月

▽体操 男女団体参加、高橋孝一郎 個人総合十五位。

▽テニス 男子団体二回戦で敗退、男子個人三回戦で敗退。

▽野球 二回戦新庄北、準々決勝酒

かり八位、女子二〇〇m平泳、高橋真紀子七位、女子二〇〇m平泳、蒲生ゆかり八位、同色摩尚子九位。

【置賜地区大会】 5月

▽陸上 団体二位 個人砲丸投げ一位、四〇〇mハードル一位。

▽体操 団体、男女とも二位、個人総合優勝高橋孝一郎、種目別、男子六種目入賞、女子一種目優勝。

▽テニス 団体、男子五位、男子ベスト8に二組。

▽野球 一回戦で米商に敗退するも敗者復活戦で勝ち進み、地区代表権をかちとって、県大会へ進出。

▽バレー 男子五位、女子四位。

▽バスケット 男子二位、女子三位。

▽サッカー 一部で四位。

▽卓球 男子五位、女子二位。

▽バドミントン 男子二位、女子入賞なし。

▽剣道 団体、女子三位、個人男子三位(吉田)、女子三位(小関)。

▽柔道 個人、軽量級三位(江口)。

▽弓道 個人、佐藤有里子三位。

▽水泳 団体、女子優勝、女子個人一〇〇自由二位(須佐邦子)、女子四〇〇リレー二位。

▽ソフトボール 三位。

▽バスバンド 八月四日、全日本吹奏楽コンクール地区予選で優勝。

▽水泳 女子一〇〇m平泳、蒲生ゆ

池袋の貸会場―各種教室・クラス会・宿泊(3名)などにご利用下さい。

コミュニティ
・サロン
紅花
988-7005

豊島区東池袋一三二-1 GSハイム池袋801号
申込・問合せは958-8484
8
商工企画棟 高橋忠三へ

カラオケ・バー
ビーハイブ
電話 496-6766

蛙田きぬ子(昭27卒)
東京都渋谷区恵比寿西1-29-8
内田ビル2F

喫茶
ルフラン
加藤栄助(昭26卒)
世田谷区上馬一ノ七ノ四
(四二二二) 八八三九

長井の酒と料理
もがみ
竹田いそ子(昭18卒)
板橋区大山町三一六
(九五五) 五一四九

同期会だより

▽大15卒「寿会」(高女)

五月九日、赤湯・丹泉ホテルで、出席者二十二名。来年も同じ頃。(幹事・松下よし)荒砥、つね、鮎貝)

▽昭4卒「東京已巳会」(長中) 年二回開催。場所は世田谷区北沢の千代田火災「北沢クラブ」。四月十日と十二月八日、但し今年は十二月七日。四月は出席者八人だった。

▽昭4卒同期会(高女) 六月二十四、二十五日、赤湯・丹泉ホテルで、出席者二十九名。東京からの出席者七名。(来年の当番幹事は荒砥在住者)

▽昭5卒同期会(長中) 六月十三日、山形市福祉会館で開催。出席者十五名。次回は未定。(幹事・乃美賢二)九六六一四五三

▽昭7卒同期会(高女) 昨年九月に長井で開催。(長井の幹事・工藤)

▽昭8卒同期会(高女) 五月に、日光・湯本「小西ホテル」で一泊開催。出席者十三名。うち東京から五名。(幹事・安藤房子)〇四二四一八二一六五一四

▽昭9卒同期会(高女) 六月十二、十三日、上ノ山温泉の「三木屋」で開催。卒業五十周年を祝う。出席者十五名。(幹事・鈴木せつ、勝見千代)

▽昭10卒「乙人会」(長中) 五月十六、十八日(二泊)、熱海で開催。山田禎史先生を迎え、出席者十名。来年は五月、飯坂温泉で。(幹事・芳賀勝助、渡辺伊作)

▽昭10卒同期会(高女) 六月末、長井の「萩公園」で開催。出席者三十名。(幹事・山口のぶ)

▽昭11卒同期会(高女) 五月中旬、松島で開催。二泊。参加者十五名。来年は長井の当番で、五月の予定。幹事は山形、長井、東京のまわりもち。(幹事・梅津かつ子)

▽昭12卒同期会(高女) 四月、新潟県の瀬波温泉で開催。出席者十三名。次回は未定。

▽昭14卒同期会(高女) 六月一日、飯豊町で合同で開催。出席者二十八名。東京地方は九月に横浜で開催予定。(幹事・吉田りえ)

▽昭15卒同期会(高女) 昨年九月、上野で開催。出席者約十二名。今秋も都内を予定。(幹事・長浜薫)〇四二三一七一五三四

▽昭3卒同期会(高女) 昨年5月中旬、合同で熱海で開催。二十五名出席。今年は九月、長井で開催予定。

▽昭17卒同期会(高女) 六月二十八日、長井「萩公園」で開催。出席者三十七名。

▽昭18卒同期会(高女) 七月十三、十四日、蔵王温泉「吉田屋」で開催。出席者三十三名。

▽昭19卒同期会(高女) 一年置きに開催。今年は休年。

▽昭20卒同期会(高女) 五月十三日、宮城県「秋保温泉」で開催。出席者二十三名。三年後は還暦となるので、長井で盛大に開く予定。

▽昭22卒「小桜会」(高女) 昨年十月二十六日、鎌倉市海岸の「鎌倉ホテル」で開催。出席者十八名。

▽昭23旧制長中・昭24新制長高卒 入学は同時ながら、学制改革で両年度に分かれて卒業となった。在京同期会を三年に一度開催。(幹事・梅津貞夫、金田国男)

▽昭23卒同期会(高女) 例年、秋季に開催。

▽昭26卒同期会(長高) 六月八、九日、福島市「土湯温泉ホテル」で開催。守谷辰雄、奥村三郎先生夫妻など恩師九名、総勢八十

六名の参加で、全国大会第三回を盛大に行った。東京で忘年会を予定。

▽昭27卒「東京二七会」(長高) 五月十八、十九日、千葉「勝浦温泉」で開催。出席者十五名。来年も同じ頃。(幹事・島崎朝雄)〇四二二二二一六三四

▽昭28卒同期会(長高) 昨年十二月八日、渋谷「やまがた舟唄」で開催。出席者二十七名。今年十月二十六日、水野校長を囲んで開催予定。(常任幹事・綿谷琴子)〇四六九一七七三三

▽昭29卒「母校へ招待」 五月十八日、母校の創立記念行事に招待を受け、全国から参集。夜、山形の「月岡ホテル」で盛大に同期会を開催。

▽昭32卒同期会(北高) 昨年、東京の同窓会に八名出席。終了後、茶話会でだべる。

▽昭34卒同期会(南高) 昨年、東京の同窓会に八名出席。終了後、同期会をする。

▽昭34卒同期会(北高) 来年、山形で開催予定。(幹事・武田律子)

——おねがい—— 各学年の幹事の方、同期会の模様を事務局までご一報下さい。